

福島第一原子力発電所の状況

2015年11月17日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (11/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.4 m ³ /h	22.9 °C	0.6 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	27.8 °C	5.35 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	26.4 °C	0.27 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： —* vol%

※ 作業に伴いデータ欠測

<2. 使用済燃料プールの状況> (11/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	22.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	18.2 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	17.0 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

【3号機】・2015/11/17 電源切替盤点検に伴い循環冷却システムを停止する予定としていたが、当該点検が中止となったことから、循環冷却システムの停止を延期することとした。今後、当該点検の日程調整を行ったうえで、循環冷却システムを停止する予定。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/11/16 セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されている高性能容器(HIC)について、HIC蓋ベント孔に計測棒を差し込み、HIC蓋内の水位確認を実施していたところ、1基のHICにベント孔の数は設計通りであったものの、孔が貫通していないことを確認。今後、当該HIC蓋にベント孔を設置する作業を実施する。なお、当該HICについては、内部水の溢水対策として蓋を解放して、水抜きを実施しており、その際に異常な加圧がないことを確認している。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 11/5]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。
- ・2015/11/16 23:56 翌日に予定されている電源停止作業の準備作業として、地下水バイパス揚水ポンプを制御する電源のうち1系統の停止作業を実施したところ、通信の異常を知らせる警報が発生し、地下水バイパス揚水ポンプが全台停止。その後、当該系統を元の状態に復帰させたところ、警報はクリアし、現場の設備にも異常がないことを確認したことから、3:09 から4:06 にかけて、地下水バイパス揚水ポンプを再起動。起動後の設備に異常はない。
全台停止した原因については、電源を停止した際に、通信異常の信号によりその他2系統の揚水ポンプが停止したものと判明。詳細を確認したところ、揚水ポンプが全台停止する設計となっており、今回の停止動作は正常な動作であった。当該系統以外の揚水ポンプが停止するという認識に至っていなかったことから、今後再発防止策を検討する。

【1～3号機放水路の状況】

- ※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・今回の分析結果[採取日 11/16]については、セシウム 134、セシウム 137 および全ベータの値が前回の分析結果[採取日 11/15]よりも低下していることを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔・海水サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上